

令和5年度 学校経営報告書（関係者評価）

学校番号	6	学校名	熱海高等学校	校長名	土屋 俊彦
------	---	-----	--------	-----	-------

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	日々の生徒との関わりを大切に、個に応じた「温かく」かつ「丁寧」な指導を充実させ、欠席、遅刻、早退の減少を図り、中途退学者数の減少につなげる。	1日あたりの全校生徒欠席人数9人・遅刻人数2人・早退人数0.5人未満にする。（毎日、教務日誌に記帳）	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 欠席、遅刻、早退は家庭事情とも関係していると思われる。朝食摂取もそうだが家庭との連携も必要と思われる。 改善が見受けられる。A評価に値する結果だと思う。 連携の成果出ている。更なる努力を。 学校が楽しい場所になると欠席、遅刻、早退が減少する。心のケアが大切。
	学校全体で前向きに成長を求める雰囲気と環境をつくる。指導基準を統一し、全教員で指導に当たることで生徒の規範意識を高める。	チケット指導件数前年比90% 生徒指導件数前年比90%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校外で見かける生徒も落ち着いた子が多いと思う。
イ	知的好奇心を喚起するような魅力ある授業を実践し、育成すべき「資質・能力の三つの柱」の向上を図る。	公開授業の教員参加率100%（事後評価の実施）公開研究授業を年2回実施する。	A	A	
	丁寧で分かりやすい授業、家庭学習の習慣化を推進し、基礎学力を定着させる。	教員研修を学期に1回以上行うことにより、授業評価「授業が分かる生徒」75%以上達成させる。（自発的学習状況の調査実施）	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 理解できていない生徒のサポートは大切。 授業の理解は80%以上を目標にするべき。
		「研修通信」月1回以上発行する。	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 研修は行っている。 先生達の中で共有できていれば発行しなくても良いのでは。

様式第3号

		生徒の家庭学習時間 30 分以上の生徒を 60% 達成する。(自発的学習状況の調査を実施)	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD、動画共有サイト、テレビ(E 画)、マンガなど知的興味をもたせるきっかけはあるはずなので工夫することは可能ではないか。 ・課題として読書(多方面の本)を導入したい。 ・興味を持たせないと難しい。
ウ	<p>「進路の手引き」を有効活用し、計画的に生徒のキャリア形成のための進路指導を実施する。</p> <p>地元企業や大学、専門学校等との連携により進路行事を充実させ、進学先、就職先の開拓につなげる。</p> <p>教職員間で情報共有を図り、生徒が意欲的に、より高い進路希望を掲げて地道に努力するよう、その実現に向けての実力を養成する。</p>	「キャリア通信」を月 1 回以上発行することにより、進路意識の向上 85% 以上(生徒アンケートを実施)	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して頂きたい。 ・工夫が必要。 ・紙ベースは読まないかもしれない。
		進路行事参加率 100% 保育・介護体験実習及び類型実習の参加率 100%、インターンシップ・オープンキャンパスの参加率 100%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・熱海高校の主たる取組で地域、企業と共に努力したい。 ・自分の進路には興味がある。もっと色々な仕事があることを知らせて欲しい。
		第一志望進路先への合格・内定 85% 以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り県内の国公立大学への進学者を出して欲しい。(増やして欲しい) ・求人票のデータ化は良い。
エ	<p>生徒が主体的に取り組む環境と雰囲気をつくり、達成感や自己肯定感、自己有用感を育む。</p> <p>部活動や生徒会活動へ意欲を持って参加する生徒の割合を増やし、学校の活性化につなげる。</p>	学校行事に対する生徒満足度 80% 以上(事後アンケートを実施)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前に近い文化祭ができたことは子ども達にとってもとても良い経験だったと思う。 ・次年度からは一般公開の時間等を考えてみてはどうか。
		3 部活以上の県大会出場 部活動満足度 80% 以上(学校生活アンケートを実施)	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・80%に届かないが、76%満足は評価したい。3 部活県大会出場も評価したい。 ・大会への出場だけでなく、日々の活動で仲間と楽しくできると良い。 ・少人数の中でよくやっている。
オ	<p>HR、学年集会、全体集会などの教育活動の様々な場面で、道徳的価値を高める指導を通じ、生徒の人格形成を図り、自他を認め多様性を尊重する態度を養う。</p>	学校生活アンケートにおける自己肯定感満足度前年比 100% 以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・人とのコミュニケーションの取り方が上手でないと思う子が多い中、熱海高校の子ども達は校内で会うと、とても良い挨拶をしてくれる。
		学校生活アンケートにおける友人関係満足度前年比 100% 以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ未然防止評価できる。
カ	読書環境を整備し、読書習慣を定着させ、読書量の増大及び質の改善を目指す。	図書室を活用したことがある生徒 50% 以上達成する。(図書アンケートの実施)	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD、CD など他の媒体があると利用率が上がる可能性がある。 ・読書の習慣がない生徒が大多数。コミックやアニメなどをもっと活用した方が良いのでは。

様式第3号

		最近読んだ本がある生徒 100%を達成する。(図書アンケートの実施)	C	C	・本を読む習慣は小さい頃からだと思う。
キ	生徒が心身ともに安心して快適に過ごせるよう、生徒・保護者の健康管理に対する意識を向上させ、安心・安全な教育環境を整備する。	朝食摂取率 80%以上(朝食摂取アンケートを実施)	C	C	・基本的には家庭の問題。簡易な朝食など学校で実施するしか方法はない気がする。 ・朝食摂取率を上げるのは中々難しい。 ・朝食だけではなく食事の全体摂取を考え、生徒だけではなく家庭も交えて考えてはどうか。
	特別支援教育の教員研修を実施する。特別支援計画の作成を実施する。個別面談体制の充実を図る。	90%以上の教諭が特別支援教育への理解を深める。(研修後アンケートを実施)	A	A	・必要だと思う。
ク	生徒の危険への予測・対応力を育成するとともに、奉仕活動等を通じて地域貢献意欲を高める。	ウルトラ大掃除や通学路清掃など奉仕活動を年2回以上実施する。	A	A	
		地域防災訓練参加率を 50%以上達成する。(防災訓練参加調査を実施)	B	B	・地元の住民(高齢者)を巻き込んだ防災訓練が必要と思われる。 ・熱海市総合防災訓練に参加し、LINE登録をサポートした。 ・災害はどこで起きるか分からないので、学校のある日に地元地域の防災訓練に参加したらどうか。
ケ	広報活動を充実させ、生徒・保護者・地域に対し、学校の特徴的な取り組みや成果についての理解を広め、生徒募集の増加につなげる。地域との連携を深め、地域に根ざした教育を実践することにより、地域から信頼される学校づくりにつなげる。	中学校訪問(2か月に1回程度)、生徒による母校訪問、HP更新(週1回)、インスタグラム更新(週平均2回以上)により、広報活動により本校を認知するきっかけとなった新入生 50%以上を達成する。(新入生アンケートの実施)	B	B	・生徒主体の SNS 発信があって良いのでは。 ・新聞を取る家が少なくなっているのでインスタはとても良いと思う。もっと子ども達の身近な話題を載せるのも良い。 ・インスタに関して生徒発信を目指すべき。
		オープンスクール参加者数 30人以上、一日体験入学参加者数 80人以上を達成する。(事後アンケートの回収)	B	B	・昨年度と比べ減少したものの最終的な評価は、実際の受検者数で判断されると思われる。 ・参加者少なく残念。

様式第3号

		PTA 本部役員会の参加率を 50%以上にする。(受付簿にて集計)	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・更に保護者の意識向上を図りたい。 ・活動自体が少なくなったので保護者も気持ちが乗らないのかもしれない。
コ	外郭団体等と連携し、生徒が国際感覚を身につける場を提供し、積極的な交流により多様な文化への理解を深め、地域に貢献できる人材を育成する。	国際観光都市熱海の資源探究における発表の場として、ビジネスプランコンテストに応募する。講師招請を行い、情報収集能力、課題解決能力の育成を図る。総合的な探究の時間の授業満足度を 70%以上達成する。(事後アンケートの実施)	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・熱海の観光客にも外国の方が増えている。
サ	生徒や職員が安心して過ごせる教育環境を整える。	施設設備の巡回点検月 1 回 施設設備に係る生徒事故 0 件	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた条件の中で整備されていればOKです。 ・事故 0 何よりです。
シ	学校組織や業務分担の見直し、行事等の教育活動の精選、時間外勤務時間の削減を通して、生徒に対する効果的な教育活動を行う環境を整備する。	時間外勤務の平均 45 時間以内 業務改善を意識した教職員の割合 100% 意識付けのための情報提供年間 10 回以上	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・DX化、効率化に励んでください。 ・人員不足は深刻。